

嶋の堂関連年表

時代	年代	政治・経済・社会	時代	年代	嶋の堂の由来に関するできごと	
平安時代	800		平安時代	800		
	802	延暦21 胆沢城が造られる		802	延暦21	
	803	延暦22 志波城が造られる(812年頃徳丹城へ移転)		803	延暦22	
	811	弘仁2 斯波・菟縫・和我郡を置く		811	弘仁2	
	812	弘仁3 この頃、頃徳丹城が造られる		812	弘仁3	
	852	仁寿2		852	仁寿2	志賀理和気神社(赤石神社)の神階が正五位下になる
	900			900		
	935	承平5 承平・天慶の乱はじまる(~41)		935	承平5	
	1000			1000		
	10世紀中葉	この頃、胆沢城が機能を停止、鎮守府が残る		10世紀中葉		
	1051	永承6 前九年合戦(~1062)		1051	永承6	前九年合戦(~1062) 源頼義・義家父子が戦勝を祈願し大莊厳寺を建立(伝承)
	1052	永承7 平等院鳳凰堂完成		1052	永承7	
	1062	康平5 安倍氏討たれる。藤原経清処刑される。 清原氏が安部氏の領土を継承 紫波郡は清原氏の所領		1062	康平5	紫波郡は清原氏の所領 後三年合戦(~1087)
	1083	永保3 後三年合戦(~1087)		1083	永保3	
	1086	応徳3 白河上皇、院政を始める		1086	応徳3	
	1089	寛治3 藤原清衡が奥六郡を支配		1089	寛治3	藤原清衡が奥六郡を支配、紫波郡は藤原氏の所領となる。
	1100			1100		
	1124	天治元 中尊寺金色堂完成		1124	天治元	
	1170	嘉応2 藤輪秀衡が鎮守府將軍となる		1170	嘉応2	この頃、比爪館造られる
1181	養和元 藤原秀衡が陸奥守になる	1181	養和元			
1185	文治元 頼朝、守護・地頭を設置(鎌倉幕府確立)	1185	文治元			
1187	文治3 源義経が秀衡を頼り、再度平泉に着く。	1187	文治3			
1189	文治5 奥州合戦起こる。	1189	文治5			
鎌倉時代	1192	建久3 源頼朝、征夷大將軍となる。	鎌倉時代	1192	建久3 閏4月 義経、自害 泰衡討たれる。奥州藤原氏滅亡 9月4日、頼朝が陣岡に宿営 9月15日、樋爪一族投降 工藤行光を岩手郡地頭に任命(足利義兼を紫波郡に配置) 源頼朝、関東御家人を地頭として奥羽地方に配置 この頃、義兼勝利の論功行賞により斯波郡を拝領したか。 樋爪俊衡、五郎沼観音堂を建立(伝承)	
	1200			1200		
	1241	仁治2		1241	仁治2 東彦部・西彦部に足利氏譜代彦部光朝の所領が存在	
	1243	寛元元 足利家氏が紫波郡に入部し、斯波氏を名乗る(伝承)		1243	寛元元	
	1292	正応5 同年号の板碑が箱清水にあった		1292	正応5	
	1300			1300		
	1303	乾元2 同年号の板碑が宮崎(嶋の堂)に所在		1303	乾元2	
	1331	元徳3 僧宥存、広泉寺建立(伝承)		1331	元徳3	
	1333	元弘3 鎌倉幕府滅亡、北畠顕家陸奥守となる。建武の新政		1333	元弘3	
	1335	建武2 足利尊氏が鎌倉で反旗を翻し、後醍醐天皇と戦う。		1335	建武2 足利尊氏が鎌倉で反旗を翻し、後醍醐天皇と戦う。	
南北朝時代	1337	延元2 斯波家長、高水寺城に下向(伝承)	南北朝時代	1337	延元2 斯波家長は敗れて鎌倉で自刃する。	
	1338	延元3 足利尊氏、室町幕府を起こす		1338	延元3	
	1356	延文元年 延文年中、斯波氏着任、新山寺・大莊厳寺も下向(伝承)		1356	延文元年 延文年中、斯波氏着任、新山寺・大莊厳寺も下向(伝承)	
	1363	貞治3 6月、僧宥存(俗名貞二)死亡(過去帳)		1363	貞治3	
	1392	明德3 南北朝合一(明徳の和約)		1392	明德3	
	1395	応永2 斯波滝浦広沢寺創建(寺伝)		1395	応永2	
	1396	応永3 熊野社別当の喜明院(佐比内)開山		1396	応永3	
室町時代	1400		室町時代	1400		
	1454	享徳3		1454	享徳3	
	1466	文正元年 観音堂別当観明院開山の祥元法師、死亡		1466	文正元年	
	1493	明応2 明応の政変が起き、全国で戦乱が恒常化		1493	明応2	
	1500			1500		
	1514	永正11 「斯波殿は四代に成り給ふ」と記録(「奥州余目記録」)		1514	永正11	
	1545	天文14 斯波氏、岩手郡南部に進出、後に猪去、雫石に一族を配置		1545	天文14	
	1560	永禄3 滝浦広沢寺、洪水で流出、京田に移転		1560	永禄3	
	1571	元亀2 広沢寺、野岸に移転		1571	元亀2	
	1583	天正11 稲藤大炊助が鹿島神社(稲藤)を勧請		1583	天正11	
1588	天正16 南部信直が斯波氏を滅ぼす	1588	天正16			
1590	天正18 豊臣秀吉、奥羽仕置により東北大名の領地を再配分	1590	天正18			
1591	天正19 九戸合戦(奥羽再仕置)	1591	天正19			
1600		1600				
1603	慶長8 徳川家康が江戸幕府を開く	1603	慶長8			
1604	慶長9 広沢寺、現在地に移転	1604	慶長9			
1700		1700				
1716	享保元 嶋の堂、移転(公葬地北東か)・再興(藩記録)	1716	享保元			
1748	寛延元 嶋の堂再興(嶋の堂古記録)1759年作成	1748	寛延元			
1800		1800				
戦国時代	1868	明治元 9月 明治改元 盛岡藩が降伏、12月13万石に減俸 神仏分離(判然) 令	戦国時代	1868	明治元 9月 明治改元 戊辰戦争で盛岡藩が降伏、13万石に減俸 神仏分離(判然) 令	
	1869	明治2 3月、盛岡藩が版籍奉還		1869	明治2 3月、盛岡藩が版籍奉還	
	1870	明治3 7月、盛岡藩を廃止、盛岡県を置く		1870	明治3 7月、盛岡藩を廃止、盛岡県を置く	
	1871	明治4 10月、寺院の廃合。社堂・小仏堂の整理はじまる		1871	明治4	
	1872	明治5 1月、盛岡県を岩手県と改称		1872	明治5	
	1874	明治7 5月、県戸籍係をおき壬申戸籍を作成 嶋の堂再建(所伝)		1874	明治7	
	1874	明治7 南日詰小学校が上池家(佐藤富也宅)を仮校舎に開校		1874	明治7	
近代(明治期)	1868	明治元	近代(明治期)	1868	明治元	
	1869	明治2		1869	明治2	
	1870	明治3		1870	明治3	
	1871	明治4		1871	明治4	
	1872	明治5		1872	明治5	